

2026年3月期 第3四半期決算概況

2026年1月28日



JFE システムズ 株式会社



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

Copyright© 2026. JFE Systems, Inc. All rights reserved.

2026年3月期 第3四半期 業績概要

- 重点成長領域である、デジタル製造事業、ERPソリューション事業、ITインフラ・セキュリティ事業に加え、スマートソリューション事業は引き続き堅調に推移。
- 一方で、鉄鋼事業の製鉄所システムリフレッシュの作業量減少の影響により、全体としては昨年度を下回る業績となった。

2026年3月期 業績見通し

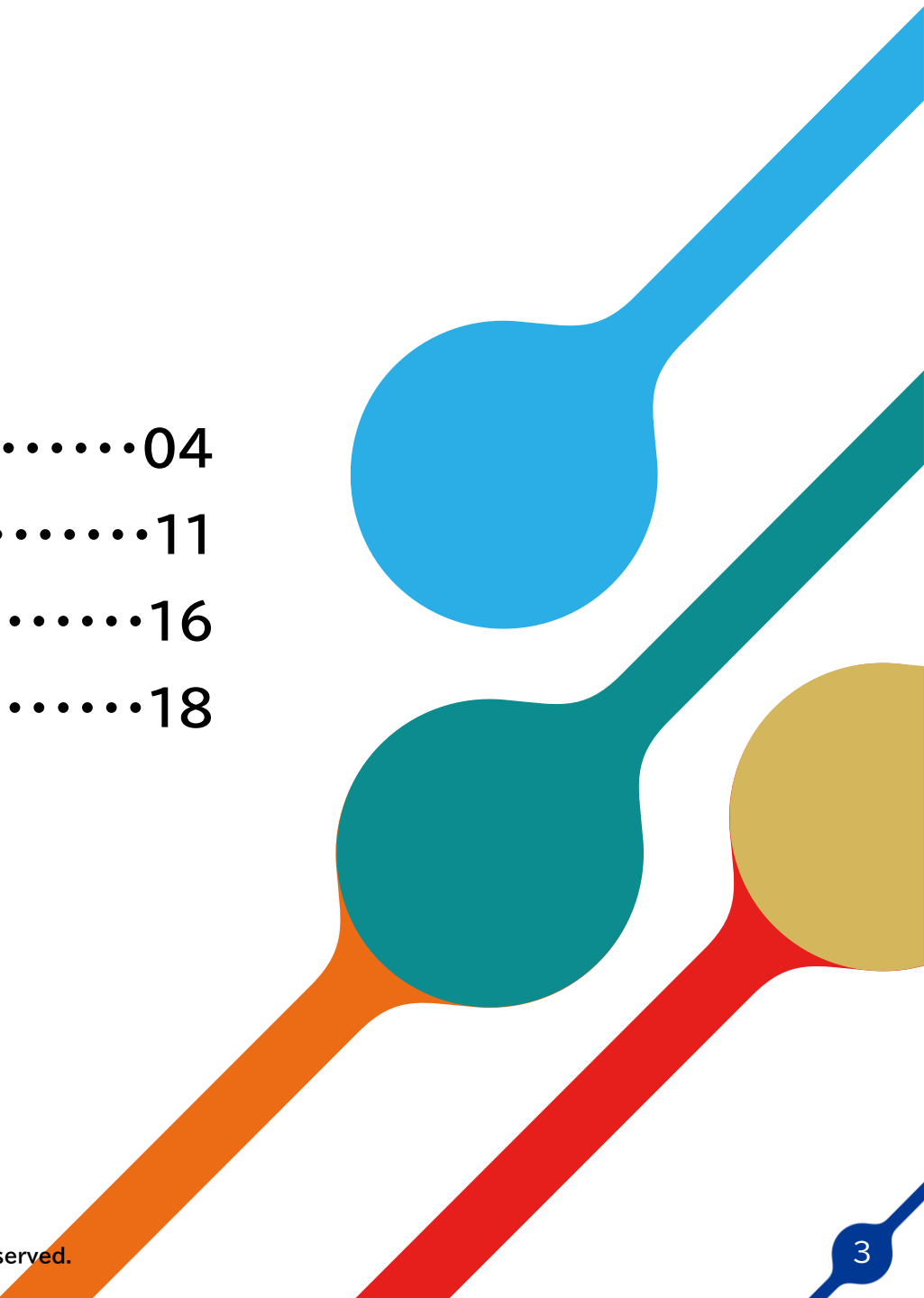
- 鉄鋼以外の事業は堅調に推移。
- 一方、鉄鋼事業では、製鉄所システムリフレッシュの作業量減少影響及び新規案件の受注遅れ等により、厳しい状況が見込まれる。
- 現時点の事業環境を踏まえ、売上高は前年度比△55億円の584億円、営業利益は前年度比△20億円の55.8億円を見込む。(前回2025年10月29日公表値どおり)

株主還元

- 2026年3月期 第2四半期決算を受け、中間配当については28円／株として支払済。
- なお、年間配当については、株主の皆様への還元を重視し、当初計画通り68円／株(中間配当28円、期末配当40円予想)を維持する方針。



CONTENTS

- 1. 2026年3月期 3Q業績04
 - 2. 2026年3月期 業績見通し11
 - 3. 株主還元16
 - 4.重点成長事業 中期計画に対する進捗状況18
- 



1. 2026年3月期 3Q業績

鉄鋼

- JFEスチール、JFEグループ向けシステム開発
JFEスチールの生産・操業管理システム、および本社・JFEグループ各社 基幹・業務システムの構築・改善・運用・維持管理
- 製鉄所システムリフレッシュ(2026年3月期完了予定)
製鉄所操業の豊富なデータ資産活用を可能とする、JFEスチール DX戦略の柱となるシステム構造改革プロジェクト

デジタル製造

- データドリブン経営支援
SCMソリューション、産業データ&AIプラットフォーム構築、デジタルワークプレイスの提供

ERPソリューション

- 基幹システム構築
ERP(SAP社、Microsoft社)と自社開発のERPテンプレート群提供による基幹システム構築、およびBI/DWH構築

スマートソリューション

- パッケージシステム提供
自社開発(電子帳票・食品品質管理・原価管理・調達システムなど)およびアライアンスソリューションを、単独または組み合わせて提供

産業ソリューション

- 大規模製造業向け業務システム開発
製造業の豊富な業務知見に基づき、お客様ニーズに合った業務システムを構築

基盤

- ITインフラストラクチャの提供
クラウドサービス、ネットワーク構築、仮想化技術、情報セキュリティなどITインフラの提供

※ 子会社

JFEコムサービス(株) インフラ構築およびJFEグループ向けSI
IAFコンサルティング(株) 経営指標の可視化(BI)導入コンサル

2026年3月期 3Q決算概況(連結:前年同期比)

	2025年3月期 3Q 実績	2026年3月期 3Q 実績	増減額	増減率
売上高	47,158	43,664	△3,494	△7.4%
売上総利益	10,984	10,604	△380	△3.5%
販売費及び一般管理費	5,694	6,047	+354	+6.2%
営業利益	5,290	4,557	△734	△13.9%
経常利益	5,351	4,646	△705	△13.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,741	3,203	△538	△14.4%
受注高	47,656	37,737	△ 9,919	△20.8%
受注残高	23,297	19,959	△ 3,338	△14.3%
ROE(自己資本利益率)	12.5%	9.5%	△3.0ポイント	
EPS(一株当たり純利益)*1	119.1円	101.97円	△17.13円	

2026年3月期 3Q概況

(売上高、売上総利益)

- 鉄鋼事業の減収影響により、売上高は前年同期比7.4%減。売上総利益は、粗利改善により前年同期比3.5%減に留まる。

(販売費及び一般管理費)

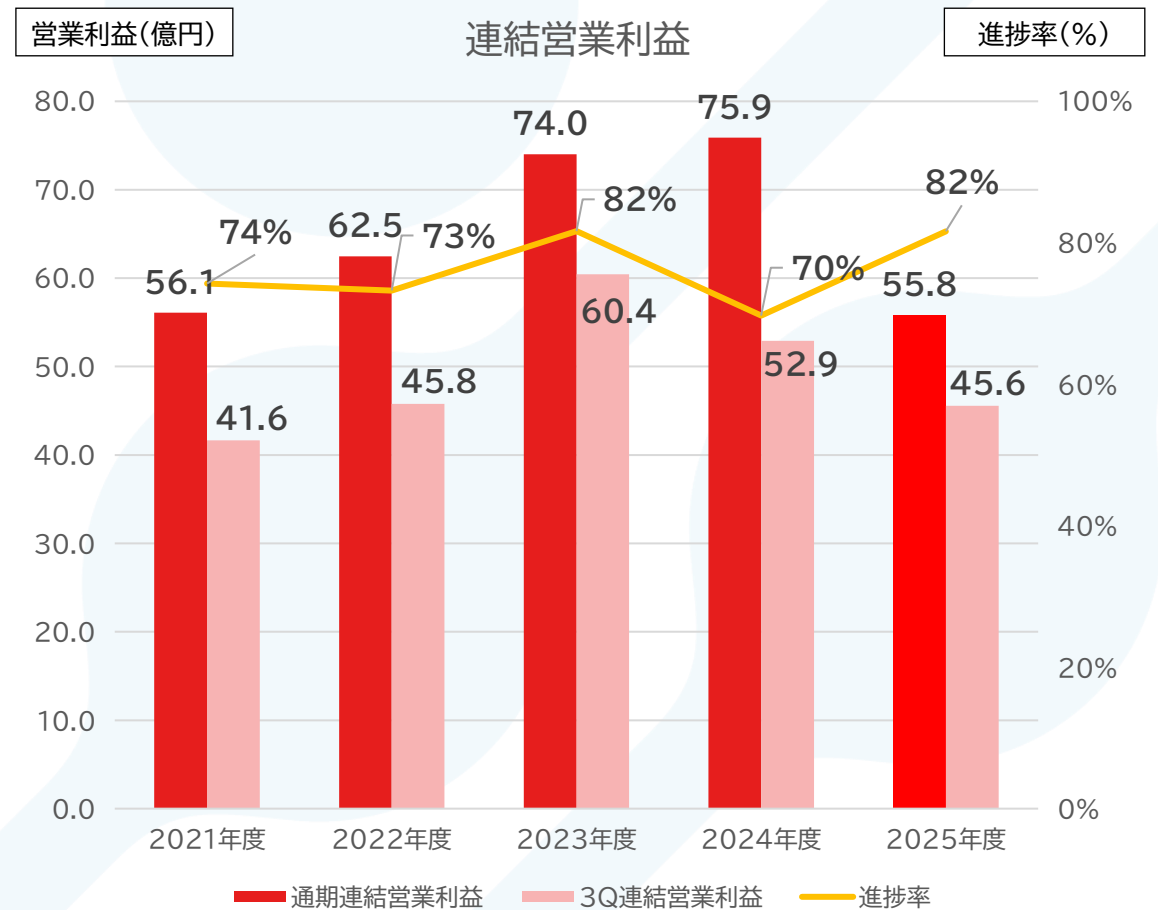
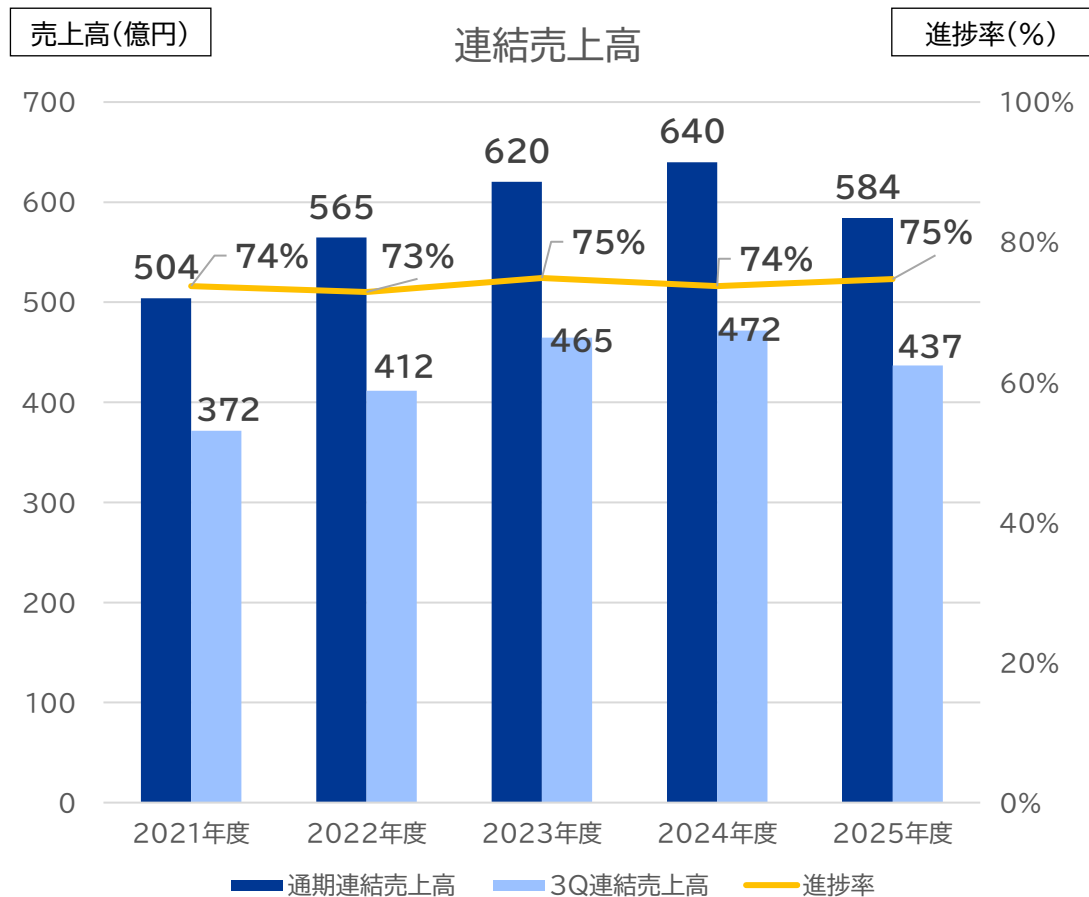
- 人材採用・育成費用及び成長基盤強化のための研究開発、社内システム投資により、前年同期比6.2%増。

(営業利益)

- 売上総利益の減少及び成長基盤強化に伴う施策費の増加が営業利益を押し下げ、前年同期比13.9%の減。

(※1) 1株当たり指標は、分割後の株数に換算
(2025/4/1に1:2分割を実施)

(参考) 第3四半期進捗率の推移



2026年3月期 3Q事業別売上高(連結:前年同期比)

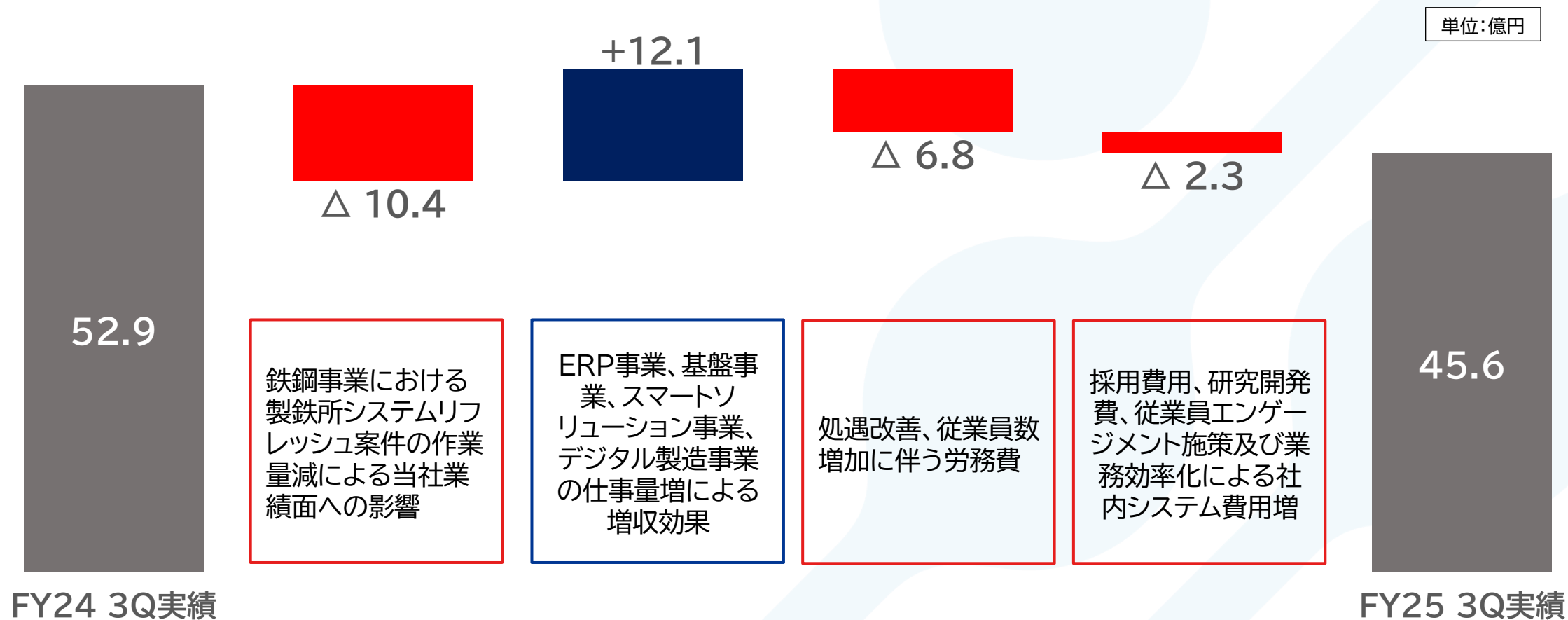
- 鉄鋼以外の事業では、前年同期比で順調に増収を達成する一方、鉄鋼での製鉄所システムリフレッシュの作業量減少影響により減収。

		2025年3月期 3Q 実績	2026年3月期 3Q 実績	増減額	増減率	2026年3月期3Q 事業概況
単位:百万円						
売上高 *1		47,158	43,664	△3,494	△7.4%	
	デジタル製造	1,418	1,624	+206	+14.5%	製造業顧客へのサプライチェーンマネジメントソリューション導入案件増加により増収
	ERPソリューション	2,314	2,908	+594	+25.7%	製造業顧客向け、ERP導入案件や次世代データ基盤構築案件の拡大により増収
	スマートソリューション	3,674	4,210	+535	+14.6%	人事・給与ソリューションの導入、更新案件の増加などにより増収
	産業ソリューション	5,739	5,793	+54	+0.9%	高い水準の業務量を維持し、堅調に推移
	鉄鋼	23,126	17,578	△5,548	△24.0%	製鉄所システムリフレッシュの作業量減少により減収
	基盤	6,773	7,354	+581	+8.6%	ITインフラ案件増による増収
	子会社	3,958	4,365	+408	+10.3%	堅調に推移

連結売上高(*1)と各事業の売上高合計値の差の主要因は、会計処理による調整差額によるもの。

2026年3月期 3Q営業利益増減の要因(連結)

- 製鉄所システムリフレッシュ作業量減少による減益に加え、処遇改善や成長基盤強化のための研究開発費用、社内システム投資の増加などにより減益。



2026年3月期 3Q連結貸借対照表(連結)

- 総資産は、前年期末日比930百万円減の52,136百万円。

単位:百万円

区分	2025年 3月期末	2026年 3月期 3Q	増減
現預金	24,053	25,659	+1,605
その他流動資産	16,218	13,856	△2,362
流動資産合計	40,271	39,515	△756
有形固定資産	4,079	3,688	△391
無形固定資産	2,741	2,774	+32
投資その他	5,974	6,159	+185
固定資産合計	12,795	12,621	△174
資産合計	53,066	52,136	△930

区分	2025年 3月期末	2026年 3月期 3Q	増減
流動負債	12,522	10,358	△2,164
固定負債	6,399	6,022	△377
負債合計	18,921	16,380	△2,540
株主資本	31,851	33,059	+1,208
その他の包括利益累計額	1,155	1,524	+369
非支配株主持分	1,139	1,172	+33
純資産合計	34,145	35,755	+1,610
負債・純資産合計	53,066	52,136	△930



2. 2026年3月期 業績見通し



2026年3月期 業績見通し(連結:前年度比)

- 重点成長事業を中心とするグループ外の顧客向けビジネスが堅調に推移する一方、鉄鋼事業においては、製鉄所システムリフレッシュの作業量減少および新規案件の受注遅れにより大幅減収。
- 売上高は前年度比で55億円減収の584億円、営業利益は前年度比20億円減益の55.8億円を見込む。(前回2025年10月29日公表値どおり)

単位:百万円

	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し (2025年10月公表)	増減額	増減率
売上高	63,972	58,436	△5,536	△8.7%
売上総利益	15,084	14,057	△1,027	△6.8%
販売費及び一般管理費	7,495	8,475	+981	+13.1%
営業利益	7,589	5,582	△2,007	△26.4%
経常利益	7,667	5,700	△1,967	△25.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,442	3,900	△1,542	△28.3%
ROE(自己資本利益率)	17.5%	11.5%	△6.0ポイント	
EPS(一株当たり純利益)*1	173.3円	124.2円	△49.1円	
DPS(一株当たり配当金)*1	61.0円	68.0円	+7.0円	
配当性向	35.2%	54.8%	+19.6ポイント	

2026年3月期 概況

(売上高)

- 鉄鋼事業の減収影響により、前年度比で8.7%の減収となる見込み。

(販売費及び一般管理費)

- 積極的な人材採用や育成、将来の成長に向けた研究開発強化に伴う費用の増加などにより、前年度比で13.1%増となる見込み。

(営業利益)

- 売上の減少に加え、成長基盤強化のために継続的な人材投資を増加させていることから、前年度比で26.4%減益となる見込み。

(※1) 1株当たり指標は、分割後の株数に換算
(2025/4/1に1:2分割を実施)

2026年3月期 事業別売上高見通し(連結:前年度比)

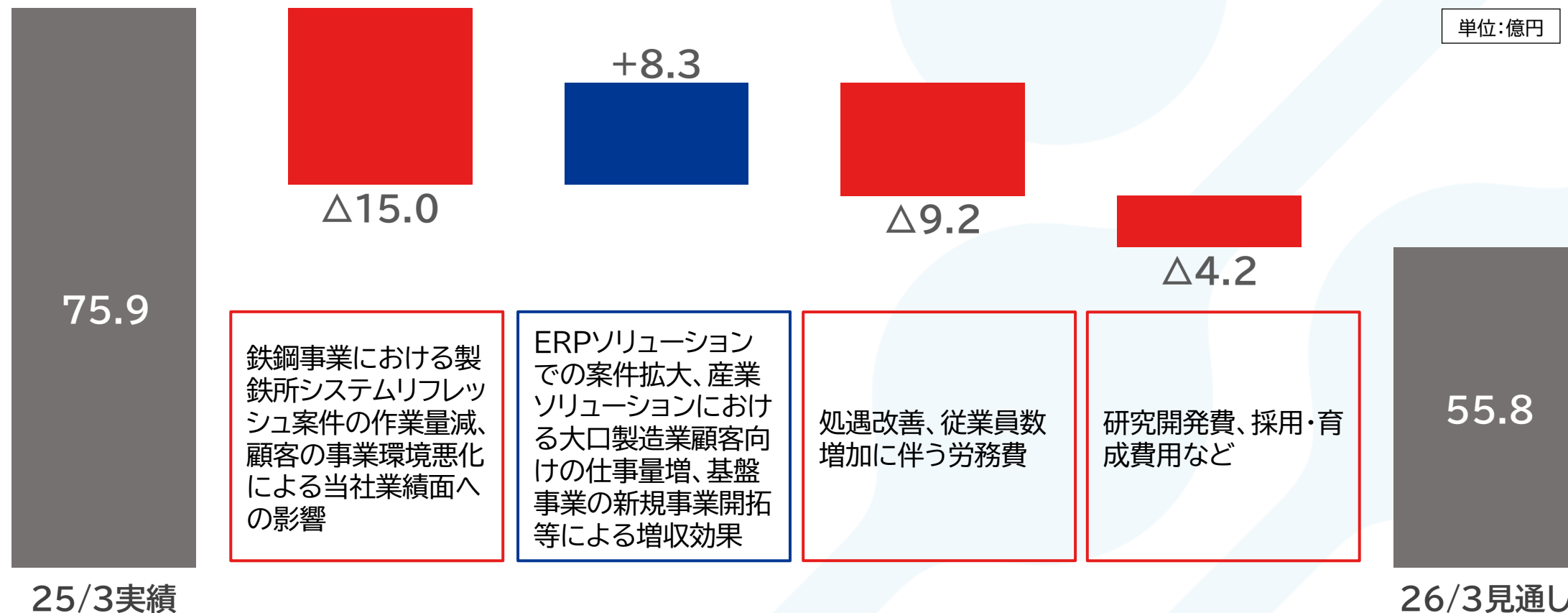
- 重点成長事業を中心とするグループ外顧客向け事業では着実に増収を見込む。
- 一方、鉄鋼事業は見通しどおり、減収の見込み。

単位:百万円		2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し (2025年10月公表)	増減額	増減率	2026年3月期 事業概況(見通し)
売上高 *1		63,972	58,436	△5,536	△8.7%	
デジタル製造		1,925	2,094	+169	+8.8%	製造業顧客向けサプライチェーンマネジメントソリューション導入案件が好調に推移し、増収を見込む
ERPソリューション		3,139	3,897	+758	+24.1%	ERPパッケージベンダーや、他社との連携による案件拡大などを含め、増収を見込む
スマートソリューション		5,238	5,750	+512	+9.8%	好調な人事・給与ソリューションや原価管理ソリューションの導入・更新案件の拡大などに伴い、増収を見込む
産業ソリューション		7,746	8,510	+764	+9.9%	製造業顧客向け業務システム開発が堅調に推移しており、増収を見込む
鉄鋼		30,328	21,854	△8,474	△27.9%	製鉄所システムリフレッシュの作業量減少および顧客の事業環境悪化による当社業績面への影響が見込まれ、減収となる見通し
基盤		9,444	10,057	+614	+6.5%	グループ外ビジネスの拡大や、積極的な新規事業開拓の推進により、増収を見込む
子会社		5,737	6,274	+537	+9.4%	高水準の売上が継続

連結売上高(*1)と各事業の売上高合計値の差の主要因は、会計処理による調整差額によるもの。

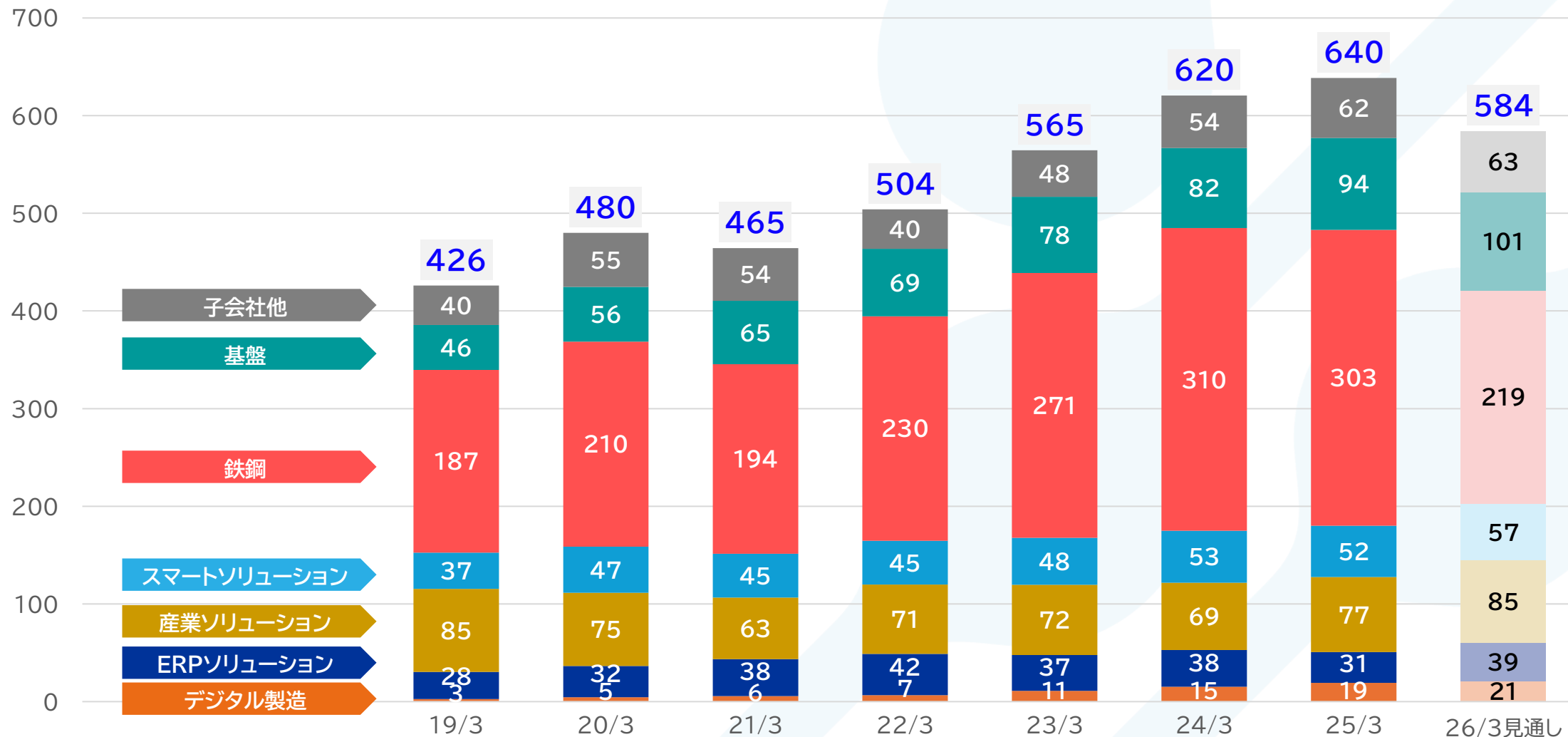
2026年3月期 業績見通し 営業利益増減の要因(連結)

- 鉄鋼事業では、製鉄所システムリフレッシュの作業量減少および顧客の事業環境の悪化による当社事業への影響懸念、さらに処遇改善や研究開発費用の増加により、減益の見通し。



参考: 報告単位別売上高推移(連結)

売上高(億円)



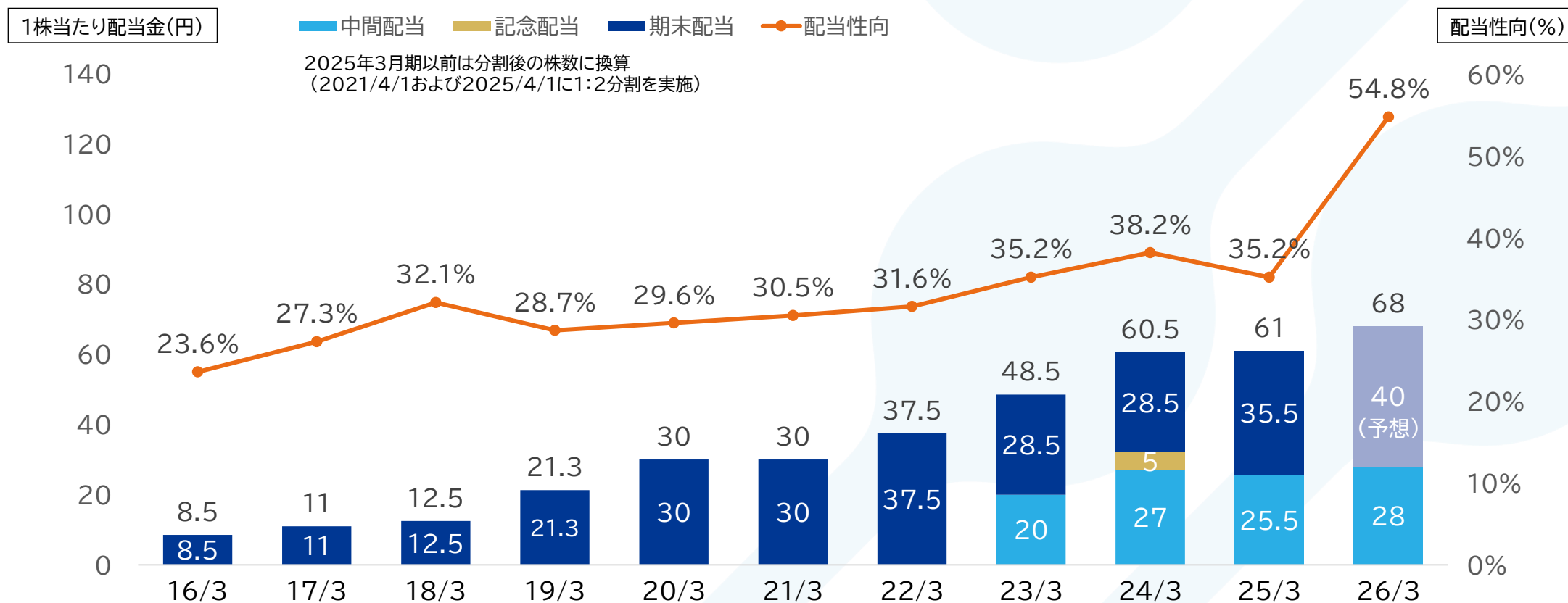


3. 株主還元



株主還元

- 現中期経営計画では「配当性向50%目標」とし、利益水準、再投資計画、財務状態等を総合的に勘案した利益配分を行う方針。
- 上期業績を受け、25年度中間配当は28.0円／株の配当を支払済。
- 期末配当は、前回公表どおり、40.0円／株のまま据え置き、年間68円／株の配当を予想。（2025年10月29日公表）
- 安定した配当を維持しつつ、今後も積極的な株主還元を努めてまいります。

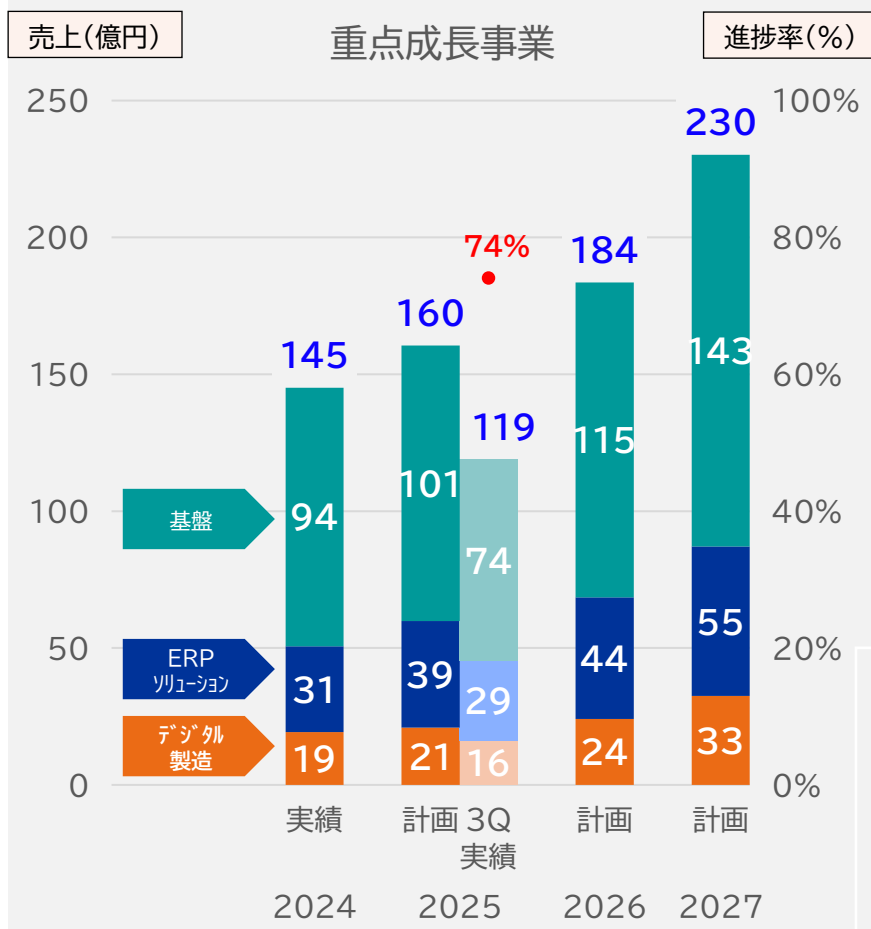




4. 重点成長事業 中期計画に対する進捗状況

重点成長事業

- ▶ 全社の成長を牽引し、市場プレゼンスと収益の両面で将来の柱とする事業群。
- ▶ 中期計画達成に向けて3事業共順調に進捗。



基盤事業

- ・ 事業全体は計画通り順調に進捗。
- ・ グループ外顧客への事業展開を加速させるため、社内外との連携を強化し、積極的な提案活動を実施中。
- ・ クラウド・セキュリティ・OT領域を軸に、新規ソリューション開発および社内外との協業について具体的な検討と協議を進めており、中期的な事業成長の実現を目指す。

ERPソリューション事業

- ・ 製造業向けERPパッケージ導入、コンバージョン案件に加え、次世代データ基盤構築案件の拡大により、累計で計画通りの事業規模を確保
- ・ 新規顧客獲得のための提案力や営業力の強化に加え、当社の強みを生かした事業領域へ集中など、中期的な事業規模の拡大に向けた事業基盤の強化を推進中。

デジタル製造事業

- ・ 製造業を中心とした主要顧客向けのサプライチェーンマネジメント(SCM)ソリューションの開発案件が着実に進行しており、中期計画通り順調に推移中。
- ・ IT/OT統合データの活用とSCMソリューションを軸に、中期的な成長に向けて要員の増強や専門知見の蓄積などを含む複合的な取り組みを推進中。



Appendix



主なニュース・プレスリリース(2026年3月期下期)



2025年
11月13日

JFEスチール 東日本製鉄所(京浜地区)大規模一貫製鉄所基幹システム オープン環境へ完全移行

2025年
11月14日

JFEシステムズ、「AWSセレクトティアサービスパートナー」認定を取得

AWSパートナーネットワークにおいて、2025年10月14日に「AWSセレクトティアサービスパートナー」の認定を取得

2025年
11月18日

JFEシステムズ、「名古屋事業所」開設のお知らせ

豊田事業所の事業拡大に伴い、東海地方における営業体制の強化および顧客対応力のさらなる向上を目的とした拠点整備を実施



スマートフルIT
SMART+HEARTFUL

はたらくをスマートに。
はたらく人にスマイルを。

ご注意

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。



JFE システムズ 株式会社